

# 進路ニュース

令和7年1月9日発行

## 謹賀新年

### I. 進路指導部より

2学期の終業式では、生徒諸君に学習の内容について、簡潔に話をしました。冬季休業中に実践できた人は、その習慣を継続してください。志望校の合格通知が来るまで、油断せず続けることで必ず力が付きます。

また、校長先生から、「1年の計は元旦にあり」という、お話をして頂きました。新年をどのように過ごすのか、何も計画せずにスタートすると、ただ何となく時間が過ぎるだけで、何も残りません。

では、「計画」を上手に立てるためには、何が必要なのでしょうか。それは、「目的」と「目標」です。一般的に、最初に「目的」を決めます。例えば、「第一志望に合格したい」とか「大会で優勝したい」など、抽象的な言葉になります。次に「目標」を作ります。目的を達成するための各段階の目安を設定します。例えば、「3学期が終わるまでに理社の総復習を終える」とか「大会1ヶ月前までに攻撃のパターンを5つ増やす」など、いくつかの期限を設置し、そこまでに完結する言葉を並べます。そして、その目標を叶えるための日々の行動が「計画」になります。例えば、「1日4時間の勉強の中に理社の時間を1時間ずつ入れ、最低1ページは問題集を終える」とか「毎日の練習の際に、友人に意見を聞いてノートに記し、隙のないように修正する」など、1日1日の積み重ねが、能力の向上に結び付くように、より具体的な言葉を示します。さらに、期限までに達成できないようであれば、計画を修正することが必要ですし、無理のない計画を立てるためには、目標から逆算して計画することが大切です。

上手に計画を立てることができている人は、今までに何度も修正した経験がある人であり、計画を立て始める前から諦めていたのでは、到底、「目的」を叶えることはできません。

皆さんが、「1年の計」を実行できることを心から願っています。

### II. 大学への出願について

近年の大学への出願は、総合型や学校推薦型、一般選抜に関係無く、ほとんどがインターネットを介した出願（インターネット出願）を導入しており、インターネット出願に完全移行して、最初の出願時の郵送受付を廃止した大学が多くなっています（調査書等は、受付完了後に郵送する必要あり）。

インターネット出願は、わざわざ紙の願書を取り寄せる必要がなく、ホームページ上で24時間出願できます。受験料もコンビニなどで24時間支払いが可能で、受験料の割引を行っている大学も多いなど、様々な利点があります。その反面、受験生にとって必要な書類（受験票など）は、受験生が自宅のプリンターで出力する必要があります。今から、各家庭でネット環境を準備しておいてください。

### Ⅲ. 学校推薦型選抜（国公立大学）の合格について

帯広畜産大学畜産学部畜産科学科	1名	茨城大学農学部食生命科学科	1名
群馬大学共同教育学部英語専攻	1名	群馬大学理工学部物質・環境類	2名
群馬県立県民健康科学大学看護学部	1名	群馬県立県民健康科学大学診療放射線学部	1名
信州大学繊維学部化学材料学科	1名	愛媛大学農学部食料生産学科	1名

以上 9名

ここで、1・2年生に話しておきたいことは、今回残念ながら評定平均の高い生徒が、不合格になっているということです。全国規模の入試では、同じくらいの評定平均の生徒ばかりが出願しますので、評定平均で差がつくことはありません。その中で合格を勝ち取るためには、他の生徒には無い、自分だけのストーリー（経験）があることと、そのことをきちんと説明できることが大切です。

### Ⅳ. 成績を向上させるために

進研模試の成績を大幅に向上させた2年生2名の生徒にインタビューした内容を紹介します。

#### ①A君（国数英3教科平均偏差値：1年7月58.1⇒2年11月72.4）

毎日の学習時間は、平日3～4時間。土日4時間+α、午前部活や1日遠征などがあるが、全く勉強しないということがないように努力した。毎日、コツコツ学習したことで成績が伸び、成果が出ると嬉しかった。

模試は、通過点と考え、模試後の夜と、模試返却時の2回見直しをした。1回目は、正誤と正しい解法の確認をした。2回目は、自分の記述内容と解答までの道筋の照合をした。

基本的に、分からないところを無くしていくスタイルが上手くいっている。

やって良かったことは、単語帳の活用で、英語で、語彙力が増し、長文を読むことが苦にならなくなった。それを古文単語にも活用することで、古文の文章を読解できるようになった。

#### ②B君（国数英3教科平均偏差値：1年7月58.3⇒2年11月67.2）

毎日の学習時間は、平日3～4時間。必ず20:00には始めるように、習慣化した。定期考査前には、テスト範囲のワークや問題集を2～3周するようにした。

模試の復習は、時間をかけて必ず実施していた。特に数学を重視し、考え方のプロセスを確認するようにしていた。

やって良かったことは、スタディサプリで、予習・復習の追加で利用していた。テキストをPDFでダウンロードして、タブレットで書き込むことができるので、通信環境があれば、すぐに始めることができた。特に、英語や国語の文法の講義がおすすめで、その講師が著者になっている問題集や参考書を購入して、学習した。

クラス内のライバル関係がモチベーションになっていて、お互いに切磋琢磨し、高め合う仲間になっている。

2人とも運動部に所属していますが、毎日の学習は欠かさず、予習と復習に加えて、単語帳やスタディサプリを活用していました。自分の弱点を克服するためには、工夫をすることが大切です。

ぜひ、成績の伸び悩みの解消に役立てて欲しいと思います。